

広報

NASUSHIOBARA  
newsletter

3月号  
(2月20日発行)

March 2021  
No.383

# なすしおばら



特集  
言葉の壁を



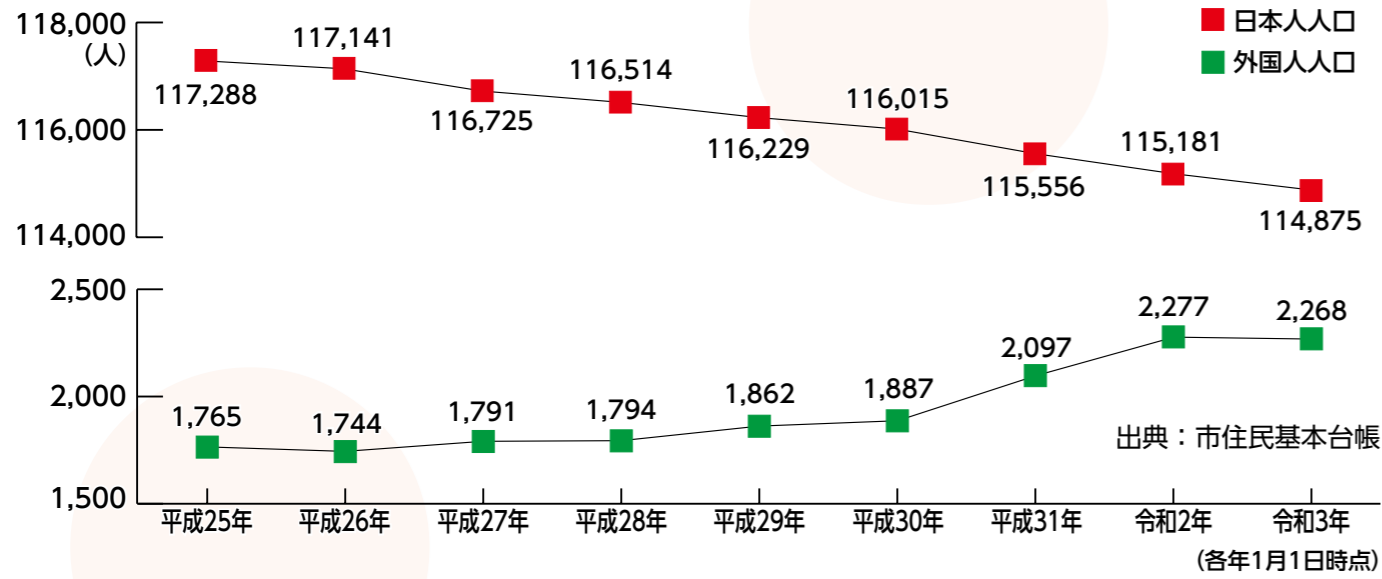
乗り越える

もくじ

那須塩原市からのお知らせ	10
なすしおばら KIDS	16
健康だより	18
お知らせ掲示板	19
みんなの広報	27

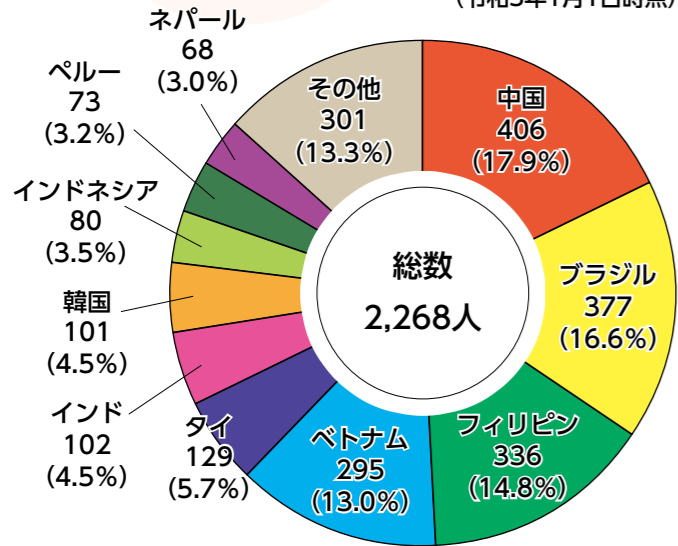


### 市内の日本人人口と外国人人口の推移



### 市内の国籍別外国人数

(令和3年1月1日時点)



このまちにも、  
いろいろな国籍の人が住んでいるモ～。  
これから住み始める人のためにも、  
より住みやすいまちづくりが必要なんだね。  
ちなみに、「みるひい」はドイツ語で牛乳という  
意味の「Milch」から名付けられたんだモ～。  
実は、国際派なのだ★



# 外国籍の人にも伝わるように



外国籍の人の中には、「日本語」がまったくわからない人も。外国籍の皆さんには、暮らしの情報などがどのように伝わっているのでしょうか。今回の特集では、このまちの外国籍の人にスポットを当てます。

「必要だから増えている」外国籍の人

私たちを取り巻く環境は、世界的に進んでいる国際化や年々進んでいる少子高齢化などにより、刻々と変化しています。こうした背景から、日本の外国人人口は、近年、急速に増加してきました。

昨年8月、総務省が発表した「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」によると、令和2年1月1日時点の外国人人口は約287万人で過去最高を記録。また、1年間の増加数、増加率なども軒並み過去最高となっています。年齢構成にも目を向けると、20～39歳が54%を占めていて、日本で進む人口減少、少子高齢化による若年労働力の不足などの課題の解決にも大きく貢献していることがわかります。

では、本市の状況はどうでしょうか。令和2年1月1日時点の市内の外国人人口は2277人で、全国と同様に過去最高を記録しました。新型コロナウイルス感染症の影響で外国籍の人の出入国が難しかったこともあり、今年の1月1日時点の外国人人口は微減でしたが、国は近年、在留資格の中に「特定技能」を新設し、即戦力となる一定の専門性・技能を持った人材を受け入れやすい環境を整備するなど、受け入れを推進する動きを進めています。従って、今後も外国籍の人は必要な人材として増えていくことが考えられます。

※介護や建設、農業、飲食料製造業など、人材不足が深刻な産業分野のための新しい在留資格。

### 「重要なのに伝わらない」情報

外国籍の人が社会において重要な役割を担うようになった一方、日々の暮らしの中の課題も浮き彫りになってきました。母国とは違う文化・言語に適應するのは、簡単なことではありません。特に、世界的にみて「極めて難しい言語」と分類されている日本語で発信される情報の中には、生活する上で必要な情報も含まれています。この「情報が伝わりにくい」という問題は、コロナ禍においても表面化しました。

昨年、全国各地で外国籍の人の感染拡大が話題になったのを覚えているでしょうか。県内でもクラスターが発生し、当時、県は「感染状況について、県からの情報提供が足りなかった」と分析しています。

皆さんの周りにも、困っている外国籍の人はいませんか。日本語を勉強中の同僚、学校の友だちやその家族、買い物をしている人の中には、塩と砂糖が見分けられず困っている人もいるかもしれません。皆さんの何気ない気遣いが、より住みやすいまちへの第一歩になります。

市内では、全小中学校に在るALTをはじめ、飲食店や工場などで外国籍の人が働いており、より身近な存在になってきました。人口減少社会ということは、一人一人の果たすべき役割がより大きくなっていると言えます。外国籍の人を含めたすべての人が、自分の能力を最大限に発揮できる環境を整えることが必要不可欠なのです。





## 「当たり前」が 一番難しい

ウエダ・バネッサさん  
国籍：ブラジル  
母国語：ポルトガル語

約20年前に来日。ブラジル人の夫と2人の子がいる。家庭では母国語のポルトガル語でコミュニケーションをとり、職場でも日本語は使っていない。日本語と英語は簡単な言葉なら聞き取れる。日本語の文章は、ひらがなとカタカナはある程度読めるが、漢字は苦手。

日本語が分からず、日常生活で苦労することはたくさんあります。行政などの通知だったり、お店の商品やポップに書いてあることだったり。インターネットの自動翻訳も、あまり精度が高いとは言えず、よく理解できないことがあります。

家族の中で日本語が一番上手なのは、学校に通っている子どもです。昔は、学校から子どもに「お母さんに伝えて」と通知を渡されることもありましたが、子どもがポルトガル語に触れているのは家庭のみ。ポルトガル語で日常会話はできますが、語彙力があるわけではないので、難しい日本語を何と翻訳したらいいのかはわかりません。なので、通知の内容は私には伝わりませんよね。

皆さんの「当たり前」が私たちにとっては一番難しいのです。やさしい日本語やローマ字併記などが、もっと広まってほしいですね。



仲よし親子です！



## 日本のルールを 守れているか不安

ファン・ティ・トゥ・タオさん  
国籍：ベトナム  
母国語：ベトナム語

日本の文化や言語に興味を持っているタオさんは来日して2年目。現在は、市内のパン屋に勤務しながら日本語教室に通い勉強している。今では、ゆっくり話せば伝わるまでに上達した。最近、ベトナムに住んでいたころはめったに見られなかった雪に触れることができて感動。



日本に来たばかりのころは、日本語だけでなく、ごみの出し方など、文化の違いもあったのでとても不安でした。ベトナムでは温泉に水着で入りますし、車は右側を走っているんですよ。仕事と生活の両面でもとても苦労しましたが、当時、職場の皆さんの助けがなかったら、もっと大変だったと思います。今でも助けてもらうことがたくさんありますし、「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

今は、主にインターネットで情報を入手していますが、ベトナム語での説明はほぼないので、さまざまな情報が多言語化されると嬉しいです。このまちが、これからもっと住みやすくなればいいですね。



雪山で1枚



## 会話はゆっくり 簡単な日本語で

路華偉さん  
国籍：中国  
母国語：中国語

中国での就職説明会で、日本企業に声を掛けられたことをきっかけに来日して4年目。日本に来る前の3カ月間、日本語を勉強してきた。今ではスムーズなコミュニケーションがとれるまでになったが、満足することなく、現在も動画などで日本語の勉強を続けている。



中国で少し勉強してから来日しましたが、言葉には苦労しました。来日当初は、ゆっくりと簡単な日本語で話してもらえるとありがたかったですし、何より方言を理解するのに苦労しました。今は、コロナ禍以前の日本語教室に通っていた経験と、自宅で動画を見ながら勉強を続けているので、少しずつ日本語も上達しました。インターネットで日本語の文章も読めますし、テレビも字幕を表示して内容が分かるようになったので情報は入ってきています。

最初は両親に心配されましたが、いろいろな魅力があるこの環境は好きですし、楽しんで生活したいですね。



同僚と寮でリラックス



お気に入りの那珂川河畔公園

# 情報は どのように 伝わっているの？

現在は、新聞やテレビ、ラジオ、インターネット、広報誌など、さまざまなメディアから情報が発信されています。では、外国籍の人はどのように情報収集しているのでしょうか。ここでは、市内に住む外国籍の人へインタビューを行い、現状や何を求めているのかを紹介いたします。

### 「やさしい日本語」を使い 伝える工夫をしよう

外国籍の人には、簡単な日本語であれば理解できるという人もいます。外国籍の人に伝えたいことは、「やさしい日本語」を意識して伝えることが大切です。あいまいな表現や難しい言葉はなるべく使わないで、一文を短くするようにしましょう。

#### 「やさしい日本語」の例

- 少々お待ちください  
↓少し 待って ください
- ご参加くださいますようお願い申し上げます  
↓参加して ください
- 土足厳禁  
↓くつを ぬいで ください



### 困ったときは… 外国人生活相談窓口 Free Counseling for Foreign Residents を利用しよう



外国人生活相談窓口  
相談員 飯岡 善巳 さん

この窓口は、外国籍の皆さんが生活する中で「分からないこと」や「不安なこと」を相談できます。日本語で書かれた通知を翻訳したり、市役所窓口での通訳や申請書類の記入を手助けしたりすることが多いです。また、日本人の皆さんからの「ごみステーションにごみの出し方を掲示したいので、翻訳してほしい」といった要望にも対応しています。「知っていなければならぬこと」が外国籍の皆さんには伝わっていない場合がよくあります。周りに困っている外国籍の人がいたら、この窓口を案内してください。

#### 《外国人生活相談窓口》

##### ▼とき

毎週金曜 午前9時～午後4時

▼ところ 西那須野支所 1階

##### ▼対応言語

英語、スペイン語、ポルトガル語

##### ▼問い合わせ

○秘書課 ☎02867(62)7324

If you have any problems, please contact the "Free Counseling for Foreign Residents" counter located at the first floor in the Nishinasuno Branch Office which is open every Friday. English, Spanish and Portuguese are available.





コミュニケーションの場にもなっている日本語教室



イベントにブースを出して国際交流



ホームステイしていたオーストリアの学生への着付け体験



**情報が伝わる仕組みを**

外国籍の皆さんの日本語の習熟度は、人によってさまざま。そのため、日本語で発信されている情報は伝わりにくく、重要な情報を伝えるためには「伝わる仕組み」が必要です。五十川さんは、「企業や学校、自治会など人によって関わりのあるところは違います。すでに一部の企業は取り組んでいます。すでに一部の企業は情報提供のルートが作られれば「伝えたい情報」がより伝わりやすくなるのでは」と考えます。

五十川さんが海外生活を送っていたときは、小中学生の子どもも一緒に

でした。生活を始めたばかりのころは英語があまり分からず、学校に通わせるための手順なども理解できていなかったそうです。そんなときに助けてくれたのが、近所に住んでいた一人の地域住民。「私が困っているのを見て、声を掛けてくれたんです。『●●日にこういうのがあるから行ってみたら』とか、『●●っていう通知がポストに届いているはずだから確認したほうがいい』とか。その人の助けはとてもありがたかったですし、今、日本で国際交流協会の会員として活動しているのも、この経験があったからかなと思っています」と、外国籍の人が暮らす上で地

域のサポートがいかにかにありがたいか、身を持って体験したそうです。皆さんの近所に住んでいる外国籍の人がいたら、まずはあいさつをするところから始めてみましょう。お互いを認識することで、何かあったときに役に立つことがあるかもしれません。私たちの住むこのまちをより住みやすくするためには、皆さんの協力が必要なのです。



# 正しい情報を 外国籍の人にも

市国際交流協会ではボランティアの皆さんが日本語教室などの外国籍の人向けの交流事業に取り組んでいます。ここでは、長年活動する理事の五十川節子さんに日々感じていることやこれからの目標を伺いました。



市国際交流協会  
理事 五十川 節子 さん

夫の転勤に伴い、5年間米国で生活。平成28年、市国際交流協会に入会。現在は理事を務め、外国籍の人との懸け橋として活動中。

困っている人を助けたい

「私も外国で苦労したので、同じ思いをしている人を助けたかったんですよね。米国で生活していた当時を振り返りながら、市国際交流協会に入会した理由を話してくれた五十川さん。日本語教育サポーターとして、市内の小中学校で外国籍の子どもたちの勉強の補助をしたり、日本語を勉強したい外国籍の人を対象とした日本語教室で日常会話を教えたり、さまざまなサポートをボランティアで行ってききました。

市国際交流協会では、日本語教室以外にも、日本人向けの「日本語指導者養成講座」や「やさしい日本語講座」、地域住民と外国籍の人の交流事業「ワールドフェスティバル」など、言語や文化の違いの両者の相互理解を深める活動を行っています。しかし、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響でほぼすべての事業が中止に。五十川さんは、「特に日本語教室は、『学びたい』外国籍の人にとって、とても大事な事業です。『コミュニケーションをとれるようにしたい』『友だちを作りたい』といった思いで来てくれていた人のためにも、感染症対策を徹底した上での再開に向けて、準備しています」と話してくれました。

Register via e-mail to receive news and join fun events!



▶申し込み・問い合わせ  
市国際交流協会事務局 (☎秘書課内)  
☎0287(62)7324  
✉hisho@city.nasushiobara.lg.jp



市国際交流協会  
ホームページ

Nasushiobara International Association

市国際交流協会 会員募集中!

International members can join for free!

〈活動内容〉

- 日本語教室の開催
- 国際交流イベントの開催
- 協会だよりの発行

▶年会費

- 個人会員 3,000円
- 法人会員 10,000円
- ※外国籍の人は0円。





**とちぎのいちご 召し上がれ**  
 ~JAなすの食育応援事業~

**い** ちごの生産量が50年以上日本一の本県。このいちごを給食で味わってもらおうと、那須野農業協同組合から地元産いちごを原料にしたいちごゼリーが市内の小中学校に提供されました。1月19日には、南小学校の給食にゼリーが登場。ふたを開けた瞬間、甘いいちごの香りがふわっと教室に漂いました。3年生の社会科で地域の勉強をしている大田原美颯さんは、「甘酸っぱくておいしい」とにっこりと笑顔を見せてくれました。



**本と標本をセットで紹介**  
 ~みるる Dino・Library~

**2** 月28日まで那須塩原市図書館「みるる」で開催しているDino・Library。恐竜をテーマにした本と、紹介されている恐竜の標本と一緒に展示した、「みるる」ならではの企画展です。展示の目玉は、写真左のガラスにうっすらと写り込んでいる恐竜の巨大な頭部の標本！ 会場では「ここ、こわ〜い」と、その迫力に圧倒される子どもの姿もありました。ぜひその目でご覧あれ。子どもから大人まで、ワクワクさせてくれますよ！



**新成人の皆さん おめでとう！**  
 ~みちたろうTOわくわくトーク~

**1** 月10日、新成人をお祝いするための記念事業の一つ「みちたろうTOわくわくトーク」が市本庁舎で開催され、新成人5人と渡辺市長が意見交換を行いました。新成人たちは「ふるさとへの思い」「将来について」などのテーマで自分の意見を発表。渡辺市長は「同級生や恩師と交流できる機会を別途作れるようにしたい」と話していました。この活発な意見交換の様子は、市動画チャンネルで配信しています。



**竹灯籠で街にヒカ리를**  
 ~イルミネーション「塩原温泉竹取物語」~

**塩** 原温泉の冬の風物詩、竹灯籠イルミネーション「塩原温泉竹取物語」。少しでも温泉街が元気になるべく、地域住民の手で11月から点灯の準備をしてきました。6回目となった今年は、宇都宮大学の学生が提案したライトアップ設計も新たに加わり、塩原もの語り館や遊歩道を彩りました。竹灯籠に明かりがともると、雪化粧をした街は神秘的な雰囲気。このイルミネーションは、3月31日まで楽しめます。



**鬼さんには負けないぞ！**  
 ~永田保育園 豆まき~

**永** 田保育園で2月2日、節分の豆まきが行われました。和太鼓の合図で迫力満点の鬼たちが教室に入ってくると、教室の隅に逃げ込み、思わず泣いてしまう子どもも。子どもたちは、怖がりながらも豆に見立てた新聞紙を鬼に向かって必死に投げて、「おには〜そと！」と元気よく声を出していました。鬼たちが逃げた後、福の神が現れると、子どもたちの表情は明るくなり、「負けなかったよ！」とほっとした様子で話してくれました。



**皆さんの応援が私の力に**  
 ~深澤舞選手に3回目の市長特別賞~

**昨** 年10月に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催された第96回日本学生選手権水泳競技大会。この大会の女子200メートル平泳ぎで見事優勝した本市出身の深澤舞さんに、3回目となる市長特別賞を贈呈しました。前回大会から2年連続の優勝を果たした深澤さんは、「連覇できたのは皆さんの応援のおかげ。また次の目標に向かって、日々強化していきたい」とコメントしてくれました。



**今年も最高の滑り心地！**  
 ~横林小学校スケート教室~

**横** 林小学校の児童にとっての「冬の楽しみ」は、近所の田んぼを使って保護者や先生が作り上げる天然氷のスケート場。毎年恒例のスケート教室では、元フィギュアスケーターの村上尚子さんから指導を受け、全校児童12人が滑走しました。後ろ向きに滑ったり、跳びながら体の向きを変えたりと、レベルの高い課題にも積極的に挑む子どもたち。くたくたになるまで体を動かし、「最高だった！」とさわやかな汗を浮かべていました。



**一人一人の行動が大切！**  
 ~コロナ対策の呼び掛け活動~

**国** が発令した2度目の緊急事態宣言で、対象区域に追加された本県。宣言の発令後初めての週末、那須ガーデンアウトレットでは、渡辺市長と福田知事が共同で啓発活動を行い、訪れた買い物客などに新型コロナウイルス感染症拡大防止を呼び掛けました。その後、本県の緊急事態宣言は期限どおり2月7日で解除されましたが、コロナ禍を乗り越えるためには、今後も皆さん一人一人の協力が欠かせません。